

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a large green field in the center. A red outline is drawn on the right side of the image, highlighting a specific area. The text is overlaid on the image.

武蔵村山市に民間空港を

《地域活性化のために》

武 蔵 村 山 市

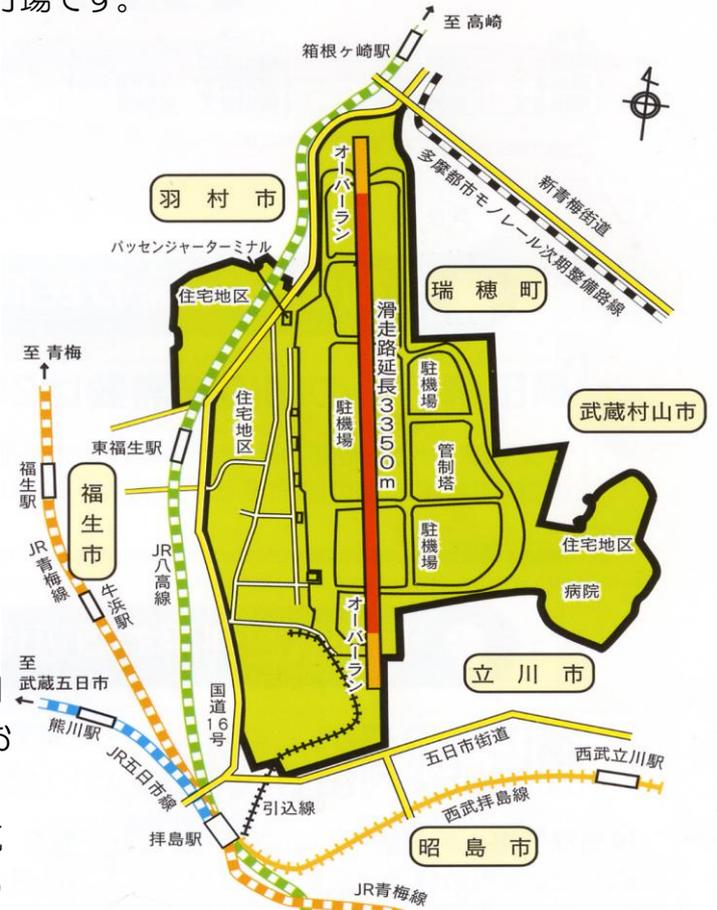
横田飛行場の概要

武蔵村山市では、横田基地の返還を最終目標として取り組んでいますが、返還までの間、横田飛行場の米空軍と民間航空との共同使用を推進することとしております。

《横田飛行場の位置》

横田飛行場は、立川市・昭島市・福生市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町の5市1町にまたがり、面積は、7.136km²と東京ドーム153個分を有し、在日米空軍が使用する飛行場では、嘉手納飛行場、三沢飛行場に次いで3番目に大きな飛行場です。

	面積 (km ²)
立川市	0.290km ²
昭島市	0.021km ²
福生市	3.317km ²
武蔵村山市	0.990km ²
羽村市	0.417km ²
瑞穂町	2.101km ²
計	7.136km ²
嘉手納飛行場	19.95km ²
三沢飛行場	15.78km ²



東京都資料「横田飛行場の民間航空利用」から

《横田飛行場の管理》

横田飛行場は、在日米空軍第374空輸航空団が管理し、一般的には「横田基地」といわれております。

横田基地の人口は、在日米空軍第374空輸航空団に所属する軍人及び軍属が3,800人とその家族4,000人のほか日本人作業員約2,000人が居住あるいは勤務しております。

本市の市民は、202人（平成19年1月1日現在）が居住しております。

《横田基地の常駐機》



C-130 輸送機



C-12J 軽輸送機



UH-1N ヘリコプター

《有効活用すべき既存施設》

横田飛行場には、3,350mの滑走路を有する貴重な飛行場施設があります。

横田飛行場の軍民共同使用を推進する意義

《本市の状況》

- 軌道交通がない。
- 通勤・通学などに不便である。
- 広域的な都市活動やまちづくりが停滞している。

横田飛行場の軍民共同使用

《本市が推進する意義》

- 本市を含め、周辺地域の活性化が進む。
- 6万9千市民の悲願である多摩都市モノレールの早期市内延伸が加速する。
- 交流が拡大する。



《地域経済の活性化》

民間の調査機関である「財団法人統計研究会」では、横田飛行場が米空軍と民間航空会社との共同使用が実現した場合の多摩地域の産業等に対してどのような効果があるか検証しました。

人的交流やIT部品、試作品、ビジネス文書などの**輸送**がさらに**促進**します。

雇用に関しては **8,800 人の純増**

(多摩地域の総従業者数 150 万人の 0.6%)

横田飛行場の軍民共用化により誘発される**生産額 1,600 億円**

⇒**付加価値換算**すると **780 億円**

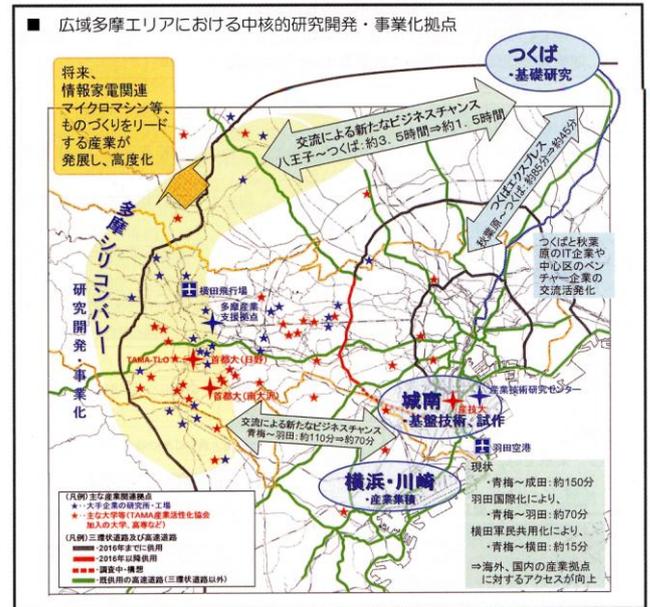
(多摩地域の地域所得の 0.6%)

⇒市町村に対する**税収の増 35 億円**

さらに、東京都が平成 18 年 12 月に策定した「10 年後の東京～東京が変わる～」では、圏央道等の整備や横田基地の軍民共用化を契機に、広域多摩エリアを首都圏の中核拠点として発展させることとし、多摩シリコンバレーとして育成していくこととしております。

《八都府県市首脳会議の国に対する要望》

千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市及びさいたま市の知事・市長は、横田飛行場の民間航空利用は、多摩西部地域を含めた首都圏全域の活性化、我が国の活力の維持、向上に大きな効果をもたらすことから、国に対し「横田飛行場の民間航空利用等の早期実現について」の要望書を提出しました。



みんなの力で本市に民間空港を

昨年実施しました市民意識調査によると、横田飛行場の軍民共同使用については、市民の 58.5%が「市の発展に寄与する」と考えております。

その主な理由として、「モノレールの早期導入」、「幹線道路の整備」、「産業の活性化」など、多くの市民が横田飛行場の軍民共同使用に期待を寄せていることから、市では、現在、日米両政府において検討が進められている横田基地の軍民共用化をとらえ、多摩都市モノレールの市内早期延伸や地域活性化など、まちづくりの促進のために、横田基地の軍民共同使用の推進を図ることとしました。

【お問い合わせ】

武蔵村山市企画財政部企画政策課
〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目 1 番地の 1
Tel. 042-565-1111

Eメール kikaku@city.musashimurayama.tokyo.jp

